

巻 頭 言



学長： 青木 紀

依頼されたのだが、実のところ筆が走らないまま今日に至った。図書館は若いころから本当にお世話になってきたところだし、とくにカビ臭いような書庫は大好きだったし、念願の新図書館棟の建設も始まったので、書く材料には困らないはずなのに、である。でもいま、気がついた。何に気がついたか。大学院生や研究者目線で図書館をとらえている自分と、学長目線でとらえている自分と、ほとんど図書館を利用しなかった学部学生時代の自分とが、頭の中で交錯していることに、である。やはりここでもそうになっているという自覚の上に、以下の感想のようなものがある。

学長になってからあちこちの大学（とくに更地の上につくられた県の威信をかけた公立大学など）を訪問するたびに、めげそうになることがあった。なぜか。大学の景観（いわゆるキャンパス）そのものがあまりに違っているからだ。なかでも、知の拠点としてあるはずの大学にとって、もっともシンボリックな意味をもっている図書館の建物は、とくに気になった。そんな（おもしろくない）感情に襲われるとき、直接は何も関わりないことだが、自分を支えたのが研究者としてのプライドのようなものだった。

ところで、その研究者としての自分というものは、学長になってからは、「捨てるべきだ」といった気持ちで過ごしてきた。しかし、「ケアの未来をひらく名寄市立大学」というキャッチコピーを思いつき、これで本学のミッションは明確なものになったと思ったときから、今度は「ケア」そのものが“研究対象”として気になってきた。そこで少し研究らしいことを再開してみるかと文献などを探し始めると、本学の図書館の基本的な「質保証」のようなことが、あらためて気になってきた。しかも、本学のウェブ誌上で学生たちと語り合ったときには、学生から「図書館に読みたい本がない」と言われてしまった。

そんなことを思うと、新図書館棟に期待をしながら、同時に全学的な教員（職員）の責任で、新しい図書館にふさわしい、教育や研究を1歩も2歩でも高める、新たな段階に向けての図書館づくり、とくに「質の高い図書館づくり」をテーマにするところに本学は来ていると思った。



《2017年4月、図書館が生まれ変わります！》

皆さんの学習を支える図書館が新しく機能を追加して生まれ変わります。

1階は、ディスカッションやプレゼンテーションもできるラーニングcommons*)があるオープン学習エリア、2階は従来の図書館機能を持つ知的空間、3階は静かに集中して学習できる落ち着いた空間を予定しています。新しい図書館をどうぞお楽しみに！

- ✿ 現在工事が進んでいますが、B&G プール右側に配置されます。本館、分館が統合され一つになり、便利になります。

- ✿ 蔵書の充実を図り、市民に開かれた図書館になります。

＜図書館配置＞

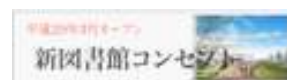


＜図書館外観＞



- ✿ 1階にラーニングcommonsを充実。グループで話し合ったり、議論したり、発表したりできるアクティブな空間です。

- ✿ 各階にコンセプトがあります。詳細は、大学HPをご覧ください。



＜1階予想図＞



＜2階予想図＞



※ラーニングcommonsとは？

複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するもの。コンピューター設備や印刷物を提供するだけでなく、それらを使った学生の自学自習を支援する図書館職員によるサービスも提供する。

「文部科学省 HP/ 大学図書館の整備について（審議のまとめ）- 変革する大学にあって求められる大学図書館像 / 用語解説」より引用

読書の秋！本を探そう！

読書の秋になりました。本を読もうと思うけど、探し始めると何を読んだら良いのかわからない、もっと違う分野の本を読みたい、どういう本がよいのかわからないという時はありませんか？

そんな時、本のガイドブックを読んでもという手があります。本を探すための本です。新しい発見があるかもしれません。

『世界を変えた10冊の本』池上彰著、
文芸春秋 『アンネの日記』、『聖書』、
『資本論』、『沈黙の春』など池上流
に解説し、幅広く掲載。

『大学新生に薦める101冊の本』広
島大学総合科学部 101冊の本プロジェ
クト編、岩波書店 大学の教職員がお
薦めする大学生にぜひ読んでもらいた
い本が満載。

『非常識な読書のすすめ 人生がガ
ラッと変わる「本の読み方」』清水克
衛著、現代書林 本のソムリエが書い
た本。たまにはこんな読み方も良いか
も？

『続・心をつなぐよみきかせ絵本100』
別冊・太陽日本のこころ149、平凡社
子どもから高齢者まで年代に合わせて
紹介。ページをめくるだけでも楽しめる。

まだ見ぬ本を探しに行こう！選書ツアー！！

レポートや課題のための適当な本がない。実習に行く前に読んでおきたい。先生から紹介されたけど本がなかった。自分が感動した本を図書館に入れたい……。そんなあなた！選書ツアーに参加しましょう！！

直接書店で本を見て、内容を確認して購入することができます。図書館の本を自分で選んでみましょう。

★ツアー場所：ジュンク堂書店旭川店（旭川市）

★日 程：10月31日（土）大学出発9：00 選書11：00～13：00 昼食各自 大学到着16：00

★募集人員：各学科2名×4学科 合計8名 10月13日（火）12：30～受付開始 先着順

栄養・社会福祉学科 → 分館へ 看護・児童学科 → 本館へお申し込みください。

図書館ガイダンスのお知らせ

1年生を対象に前期に行った図書を探す基本的なガイダンスに続き、後期はデータベースの使い方や、論文を探すガイダンスを行います。基礎科学演習Ⅱの時間帯、もしくはその他の時間帯でゼミ単位でお申し込みください。他学年向けには、卒業研究、総合演習に応じた内容で随時受け付けています。

ぜひ、今後の学習に役立つ図書・文献の探し方を学んでください。詳細はHPにも掲載されています。

第2回ビブリアバトル

6月～7月にかけて4回の予選を行い、勝ち抜いた精鋭たちが、大学祭で決戦！暑いバトルを繰り広げました。

みごとチャンプ本に輝いたのは、1年社会福祉学科・鈴木洸夢さんの紹介した辻村深月著『冷たい校舎の時は止まる』（講談社）でした。

観客はレベルの高いパフォーマンス、学生の度胸の良さに圧倒されていました。

予選、決戦の様子は図書館 Facebook

に掲載されています。紹介された本は、図書館で所蔵しています。



市民向けガイダンス

8月20日（木）と29日（木）の2回、市民のみなさま向けの図書館利用ガイダンスを実施しました。

図書の分類や並べ方の決まりをお話し、その後 OPAC を使って検索実習をしていただきました。検索した本を早速借りていく姿も見られ、これを機

に、より多くの市民のみなさまに利用していただけただけなら嬉しいです。



～☆～☆～☆～ 編集後記 ～☆～☆～☆～
後期授業が始まりました。朝晩すっかり肌寒くなり、生活時間も変わってきました。秋の夜長、学習、おしゃべり、TV など夜更かしし過ぎないように気をつけて！



第5回サイエンスカフェ

大学祭では第5回サイエンスカフェも開催されました。児童学科今野道裕先生による「作ることからわかること～『おもちゃ』子どもとひととの間にあるもの～」でした。

机の上には手軽に作れるおもちゃの材料が並べられ、大人も子どもも夢中になって、おもちゃ作りに取りに組んでいましたとても賑やかな、

そして賑やかな楽しいひと時でした。



Facebook 更新中

図書館の Facebook を知っていますか？
図書館の HP のトップページ左側にアイコンがあります。Facebook のアカウントを持つ

ていなくても見る事ができます。

図書館からのタイムリーなお知らせ（展示、イベントなど）や図書・

雑誌の紹介、図書館の様子を投稿しています。

図書館所蔵の本を紹介する「今週の本」も始めました。ぜひご覧ください！



図書館だより

2015年第2号

2015年10月1日発行

名寄市立大学図書館運営委員会
〒096-8641

名寄市西4条北8丁目1
名寄市立大学図書館

